



# テニス 競技公式ルール

スペシャルオリンピックス





目次

1.	適用ルール.....	3
2.	公式種目.....	3
2.1	個人技能競技.....	3
2.2	シングルス.....	3
2.3	ダブルス.....	3
2.4	混合ダブルス.....	3
2.5	ユニファイドスポーツ®ダブルス.....	3
2.6	ユニファイドスポーツ®混合ダブルス.....	3
2.7	ユニファイドスポーツ®チームテニス.....	3
3.	競技ルール.....	3
3.1	ディビジョニング.....	3
3.2	マッチプレー（試合方式）.....	3
3.3	ノーアドバンテージ・スコアリング方式.....	4
3.3.1	シングルス戦.....	4
3.3.2	ダブルス戦.....	4
3.3.3	混合ダブルス戦.....	4
3.3.4	ユニファイドスポーツ®ダブルス戦.....	4
3.3.5	スコアコール.....	4
3.4	コーチング.....	4
3.5	タイブレーク.....	5
3.6	ユニファイドスポーツ®ダブルス.....	5
3.7	ユニファイドスポーツ®チームテニス種目.....	5
3.8	レベル1の7種類の技能テスト.....	6
4.	レベル.....	9
5.	ITN 査定 査定手順（次頁参照）.....	12
6.	ITN 査定シートの作成（次頁参照）.....	25



## 1. 適用ルール

スペシャルオリンピックス (SO) のテニス競技公式スポーツルールは、すべてのスペシャルオリンピックステニス競技において適用される。本ルールは、国際的なスポーツプログラムとして、国際テニス連盟 (ITF) が定めるルール (<http://www.itftennis.com/>を参照) に基づきスペシャルオリンピックスが定めたものである。ITFまたは国内競技団体 (JTA) のルールを採用するが、それらとスペシャルオリンピックスのテニス競技公式スポーツルールまたはスペシャルオリンピックススポーツルール第1章—総則との間で矛盾が生じる場合は、スペシャルオリンピックスのテニス競技公式スポーツルールを適用するものとする。

参考：行動規範、トレーニング基準、医療・安全面の必要条件、ディビジョニング、表彰、上位レベルの競技会への進出条件、およびユニファイドスポーツに関する詳細については、スペシャルオリンピックススポーツルール第1章総則

<http://media.specialolympics.org/resources/sports-essentials/general/Sports-Rules-Article-1.pdf> を参照してください。

## 2. 公式種目

種目の範囲は、あらゆる能力のアスリートに競技する機会を提供することを目的としている。プログラムでは、提供する種目、および必要に応じてそれらの種目の運営方針を決定することができる。コーチは、それぞれのアスリートの技術と興味に応じて、適切なトレーニングの提供と種目を選択することに責任を負う。

以下はスペシャルオリンピックスにおける公式種目の一覧である。

- 2.1 個人技能競技
- 2.2 シングルス
- 2.3 ダブルス
- 2.4 混合ダブルス
- 2.5 ユニファイドスポーツ®ダブルス
- 2.6 ユニファイドスポーツ®混合ダブルス
- 2.7 ユニファイドスポーツ®チームテニス

## 3. 競技ルール

- 3.1 ディビジョニング
  - 3.1.1 アスリートのディビジョニングは ITN 査定フォームの ITN のナンバーおよび ITN の最終スコアに基づいて行われる。
  - 3.1.2 試合に際して各アスリートは競技会登録書類一式と共に ITN 査定フォームを提出しなければならない。
  - 3.1.3 ITN 査定フォームは、スペシャルオリンピックスのテニス競技公式スポーツルールのセクション5で提供されている。
- 3.2 マッチプレー (試合方式)
  - 3.2.1 試合は次のいずれかの方式とする。
    - 3.2.1.1 短縮 4 ゲーム 3 セットマッチ
      - ①短縮ゲームでは、2 ゲーム差で 4 ゲーム先取した選手/チームが、セットをとる。
      - ②ノーアドバンテージ方式とする。
      - ③スコアが 4 ゲームオールとなった場合は、7 ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。



- ④セットカウントが1セットオールになった場合は、試合の勝者を決める為、10ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。この場合のタイブレーク・ゲームはファイナルセット（3セット目）の代わりとなる。
- 3.2.1.2 6ゲーム3セットマッチ
  - ①2ゲーム差で6ゲーム先取した選手/チームがセットをとる。
  - ②ノーアドバンテージ方式とする。
  - ③スコアが6ゲームオールになった場合は、7ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。
  - ④セットカウントが1セットオールとなった場合は、試合の勝者を決め、10ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。この場合のタイブレーク・ゲームは、ファイナルセット（3セット目）の代わりとなる。
- 3.2.1.3 短縮ゲーム（4ゲーム）3セットマッチまたは6ゲーム3セットマッチの試合：2タイブレークの4ゲームまたは6ゲームセットマッチの場合、10ポイント先取のタイブレーク・ゲームを行う前に3分の休憩を与える。
- 3.2.1.4 すべての試合で、ノーアドバンテージ・スコアリング方式が適用される。ノーアドバンテージの試合方法：先に4ポイントを獲得した選手がゲームの勝者となり、ゲームの7ポイント目が、必ず勝敗を決めるゲームポイントとなる。
- 3.3 ノーアドバンテージ・スコアリング方式
  - 3.3.1 シングルス戦
    - 3.3.1.1 7ポイント目に到達した際、レシーバーはアドバンテージコートかデュースコートを選ぶことができ、サーバーはもう一方のコートでサーブを打つこと。
  - 3.3.2 ダブルス戦
    - 3.3.2.1 7ポイント目に到達した際、レシーバーペアはアドバンテージコートかデュースコートを選ぶことができ、サーバーペアはもう一方のコートでサーブを打つこと。
  - 3.3.3 混合ダブルス戦
    - 3.3.3.1 勝敗を決めるゲームポイントでは必ず同性の選手がサーブとレシーブを行うこと。つまり、サーバーが男性の時はレシーバーも男性で、女性のサーバーの時は女性のレシーバーとなる。
  - 3.3.4 ユニファイドスポーツ®ダブルス戦
    - 3.3.4.1 7ポイント目に到達した際、サーバーがアスリートの時はレシーバーもアスリート、パートナーがサーバーの時はレシーバーもパートナーとなる。
  - 3.3.5 スコアコール
    - 3.3.5.1 スコアのコールは従来の方式か、通常の数字、すなわち「0、1、2、3、ゲーム」のどちらかを用いる。
- 3.4 コーチング
  - 3.4.1 スペシャルオリンピックスから認定を受けたコーチ1人がコートに座っても構わない（座る椅子は、コート面の外、ネットポストの横の審判の椅子の隣とす



る)。選手が奇数番目のゲームの終わりにエンドチェンジをする際、およびタイブレーク・ゲーム（10ポイントの場合のみ）前に与えられる3分間休憩の際、コーチは選手を指導できるが、タイブレーク・ゲーム中に行ってはならない。またエンドチェンジは90秒以内に終えなければならない。

### 3.5 タイブレーク

3.5.1 2人以上のアスリートあるいはチームの最終ポイントが同じ場合、以下の順に従って勝敗を決める：

3.5.1.1 第1：すべてのマッチ内で失ったセット数が最少であること。

3.5.1.2 第2：すべてのマッチ内で勝ったゲーム数が最大であること。

3.5.1.3 第3：すべてのマッチ内で失ったゲーム数が最少であること。

3.5.1.4 第4：（チーム以外の場合）直接対決の結果。

### 3.6 ユニファイドスポーツ®ダブルス

3.6.1 ユニファイドスポーツ®ダブルスの各ペアは、ITNの最終ナンバーで定義された同じ程度のスキルを持つ知的障害のある選手1名と、知的障害のない選手1名から成る。

3.6.2 各ペアは、2人のサービスの順番とコート上の位置（アドバンテージかデュースコート）を決める。

### 3.7 ユニファイドスポーツ®チームテニス種目

3.7.1 スペシャルオリンピックスのユニファイドスポーツ®チームテニスプログラムは、ITF（国際テニス連盟）およびスペシャルオリンピックスのテニス競技のルールが適用される。

3.7.2 ユニファイドスポーツ®チーム構成：ユニファイドテニスチームは、ユニファイドダブルスチームで構成される。ユニファイドダブルスチームは、知的障害のあるアスリート1名と、知的障害がなくレイティングのスコアが同じ程度のスキルを持つ年齢が近いアスリート1名から成る。

3.7.3 個人のレイティング—すべてのテニス選手はITN査定フォームで格付けする。ユニファイドダブルスチームを結成する際、アスリートとユニファイドパートナーは可能な限り能力面で同等でなければならない。どちらの選手も全く同じITNの最終ナンバーを保有（選手Aと選手BがITN8を保有）する必要があるか、ITNナンバーの最も高いレベルで競技する（選手AはITN9レベル3で選手BがITN8レベル4の場合、チームはITN8レベル4で競技する）。

3.7.4 登録選手人数：ユニファイドチームの登録選手は最少3組のユニファイドダブルスと最大6組のユニファイドダブルスチームで構成される（例：ユニファイドチームのダブルスを3組で構成する場合、可能であればそれぞれの1組ずつをレベル2、レベル4、レベル5とする）。

3.7.5 競技会：競技会は1対1の対戦や多くのチームを招待するものがある。1対1で対戦する競技会の場合、対戦する学校同士、クラブ同士は、同じレベルやレイティングが近似のダブルスチームが同数組参加する。

3.7.6 ユニファイドチームのディビジョニング編成：競技会の間、ユニファイドスポーツ®テニスチームはレベルおよびダブルスチームのレイティング（個人のレイティングのスコアを合計したもの）に基づきディビジョニングされる。競技会責任者（トーナメントディレクター）が競技会に向け同等のレベルとレイティングを組み合わせる。

3.7.7 ダブルス試合の組み合わせ：競技会の試合を組むには、同程度の競技レベルと





同程度のレイティングのスコアを持つダブルスのチーム同士が試合をする必要がある。

- 3.7.8 競技会における指定テニスボールの使用およびコートサイズの決定：ダブルスチームの保有する ITN の最終スコアと ITN の最終ナンバーによって、競技会で使用すべきテニスボールの種類、およびコートサイズが決まる。ダブルスチームのレイティングは2名の選手の合計スコアとする（例：選手 A が 4 で選手 B が 5 の場合、ダブルスチームのレイティングのスコアは 9 となる）。要件は以下のとおり：
- 3.7.8.1 ユニファイドスポーツ®チーム レベル 5：ITN 9 のダブルスチームは、78 フィート（23.77m）コートで標準的なイエローのテニスボールを用いなければならない。
- 3.7.8.2 ユニファイドスポーツ®チーム レベル 4：ITN 8、7、6、またはさらに高いレベルのダブルスチームは、78 フィート（23.77m）コートで 25% 低反発グリーンボール（緑の丸が描かれたイエローボール）を用いなければならない。
- 3.7.8.3 ユニファイドスポーツ®チーム レベル 2：ITN 10 のダブルスチームは、42 フィート（12.8m）コート（サービスボックスのみ）でレッドボールを用いる。
- 3.7.9 選手交代：ダブルスチームにおける競技中の交代は許可されていない。もしダブルスチームのどちらかの選手が試合を継続できなくなった場合、そのダブルスチームは失格となる。
- 3.7.10 競技形式：以下は両チームの選手人数に基づいた競技形式である。相手チームより選手が多い場合、余る選手はシングルのエキシビジョンマッチを行う。  
例：チーム A には 6 名の選手、チーム B には 8 名の選手がいる。チーム B で残る 2 名の選手はシングルのエキシビジョンマッチを行う。
- 3.7.10.1 両チームとも選手 6 名の場合、ダブルスを 3 試合行う。
- 3.7.10.2 両チームとも選手 8 名の場合、ダブルスを 4 試合行う。
- 3.7.10.3 両チームとも選手 10 名の場合、ダブルスを 5 試合行う。
- 3.7.10.4 両チームとも選手 12 名の場合、ダブルスを 6 試合行う。
- 3.7.11 対戦形式：3 セットマッチの短縮ゲーム（ショートセット）で、3 セットのうち良い方の 2 セットで 1 つのマッチとする。すべての試合で、ノーアドバンテージ・スコアリング方式が適用される。
- 3.7.11.1 雨天時や時間が遅れている時は、6 ゲーム 1 セットの試合を代わりに行う。
- 3.7.11.1.1 1 セットマッチでは対戦相手に 2 ゲーム以上の差をつけ、1 セットの内 6 ゲームを先取したチームがそのセットの勝者である。
- 3.7.11.1.2 6 ゲームオールになった場合、10 ポイント先取のタイプレーク・ゲームが行われる。
- 3.7.11.1.3 ノーアドバンテージ・スコアリング方式を用いる。
- 3.8 レベル 1 の 7 種類の技能テスト
- 3.8.1 レベル 1 のボールはレッドボールとする。
- 3.8.2 フォアハンドボレー
- 3.8.2.1 アスリートはネットから約 1 m 離れて立ち、球出し担当はネットの反



対側のコートのサービスラインとネットの間に立つ。各アスリートには5回の試技のチャンスが与えられ、ネットの向こう側にうまくボールを打ち込めるかを競う。球出し担当は、アスリートのフォアハンド側に下手投げでトスする。

3.8.2.2 アスリートは、どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5ポイントが与えられる。

### 3.8.3 バックハンドボレー

3.8.3.1 球出しをアスリートのバックハンド側に行う以外は、フォアハンドボレーと同様である。

3.8.3.2 各アスリートには5回の試技のチャンスが与えられる。

### 3.8.4 フォアハンド・グラウンドストローク

3.8.4.1 アスリートはサービスラインの中央（T）から1 m 後ろに立つ。球出し担当は、ネットの反対側のサービスラインとネットの間に立ち、下手投げでボールをトスし、ワンバウンドしてからアスリートのフォアハンド側に届くようにする。各アスリートには5回の試技のチャンスが与えられる。

3.8.4.2 アスリートは、どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5ポイントが与えられる。

### 3.8.5 バックハンド・グラウンドストローク

3.8.5.1 球出しをアスリートのバックハンド側に行う以外は、フォアハンド・グラウンドストロークと同様である。各アスリートには5回の試技のチャンスが与えられる。

### 3.8.6 サーブ・デュースコート

3.8.6.1 各アスリートには5回の試技のチャンスが与えられ、右側のコートからデュースサイドのサービスボックスに適切なサーブを打つ。正しいサービスボックスにボールを入れると、10ポイントが与えられる。アスリートがフットフォルトを取られた場合、またはサービスボックス内にボールが入らなかった場合、0ポイントとなる。アスリートがサービスラインを踏んだり超えたりした場合、フットフォルトとみなされる。

### 3.8.7 サーブ・アドバンテージコート

3.8.7.1 左側のコートからアドバンテージサイドのサービスボックスにサーブする以外は、デュースコートの場合と同様である。

3.8.7.2 各アスリートには5回の試技のチャンスが与えられる。

### 3.8.8 動きを伴う左右交互のグラウンドストローク

3.8.8.1 アスリートはサービスラインの中央（T）から1 m 後ろの位置から開始する。球出し担当はネットの反対側のサービスラインとネットの間に立つ。交互に下手投げでボールをトスし、アスリートのフォアハンド側とバックハンド側に届くようにする。トスはすべてサービスラインとネットの間地点、かつセンターサービスラインとシングルサイドラインの間地点に落とすこと。次のボールが出される前に、アスリートはセンターマークまで戻ることができる余裕を与えられなければならない。各アスリートには10回の試技のチャンスが与えられる。



3.8.8.2 アスリートは、どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5ポイントが与えられる。

3.8.9 最終スコア

3.8.9.1 選手の最終スコアは、個人技能競技を構成する上記7種目のそれぞれのスコアを合計することによって決定される。

アスリート名前 _____				男性/女性	ボールフィーダーは、ネットから2メートル離れて反対側に立つ	レッドボール IFF 認証
選手団		ディビジョン			それぞれのポイントを丸で囲む	
スキル	1 球目	2 球目	3 球目	4 球目	5 球目	合計
フォアハンドボレー	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
ネット上の位置 (アスリート) 2回の練習/5回の試技						
バックハンドボレー	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
ネット上の位置 (アスリート) 2回の練習/5回の試技						
フォアハンド グラウンドストローク サービスライン上 (アスリート) 2回の練習/5回の試技	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
バックハンド グラウンドストローク サービスライン上 (アスリート) 2回の練習/5回の試技						
サーブス-デュース	0 10	0 10	0 10	0 10	0 10	
サーブス-AD						
サーブス-AD	0 10	0 10	0 10	0 10	0 10	
サーブス-AD						
グラウンドストローク (交互)	1 球目	2 球目	3 球目	4 球目	5 球目	
FH/BH を交互に 10 回	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	





サービスライン 上の位置 (アスリート)	6 球目	7 球目	8 球目	9 球目	10 球目	
FH/BH を交互に 10 回	0 5	0 5	0 5	0 5	0 5	
					合計	

#### 4. レベル

以下はすべての能力のアスリートに対し競技の機会を提供するために考案されたレベルである。レベル 2~5 を対象とする競技種目は、シングルス、ダブルス、ミックスダブルス、そしてユニファイドダブルスである。

##### 4.1

レベル 1	個人技能競技		
レベル 2	マッチプレー :	ITN 10.3~10.2	42 フィート (12.8m) コートーレッドボール
レベル 3	マッチプレー :	ITN 10.1	42 フィート (12.8m) コートーレッドボール
レベル 4	マッチプレー :	ITN 10	60 フィート (18.29m) コートーオレンジボール
レベル 5	マッチプレー :	ITN 9	78 フィート (23.77m) コートーグリーンボール (緑の丸が描かれたイエローボール)
レベル 6	マッチプレー :	ITN 8、7	78 フィート (23.77m) コートーイエローボール
		ITN 6、5、4	78 フィート (23.77m) コートーイエローボール

4.2 ダブルスの試合では、両方の選手が同じレベルのレイティングでなければならない。レベルが異なる場合、チームは最もレベルの高い選手のレベルで競技をしなければならない (例 : レベル 4 とレベル 5 の選手がペアの場合、レベル 5 指定の 78 フィートコートとイエローボールで競技する)。シングルのレイティングの組み合わせは、高いレベルでチームのディビジョニングをするために用いられる。

##### 4.3 参照 :

4.3.1 テニス・レイティング・シートー

[http://media.specialolympics.org/soi/files/resources/Sports-Rules-Competitions/Tennis/Tennis\\_Rating\\_Sheet\\_2012.docx](http://media.specialolympics.org/soi/files/resources/Sports-Rules-Competitions/Tennis/Tennis_Rating_Sheet_2012.docx)

4.3.2 レベル別のコート図ー

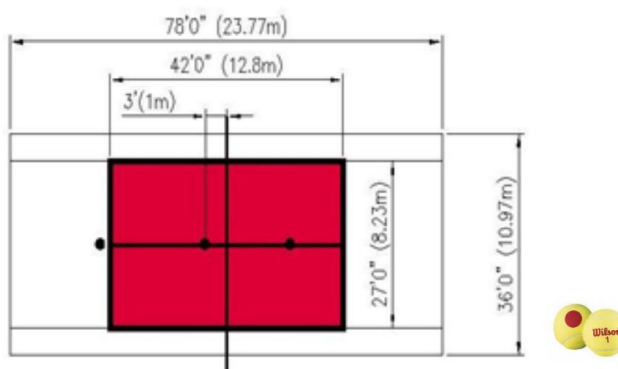
[http://media.specialolympics.org/soi/files/resources/Sports-Rules-Competitions/Tennis/Levels\\_court\\_diagrams.docx](http://media.specialolympics.org/soi/files/resources/Sports-Rules-Competitions/Tennis/Levels_court_diagrams.docx)



4.3.3 SO ITN 査定動画

- 4.3.3.1 <https://vimeo.com/289520911/caff34e88b> – コートの準備方法
- 4.3.3.2 <https://vimeo.com/289517598/a32620c8c1> – レベル 4/5/6 ハードコート
- 4.3.3.3 <https://vimeo.com/289519201/48bf99adf6> – レベル 4/5/6 クレーコート
- 4.3.3.4 <https://vimeo.com/289516053/0f0096b73e> – レベル 3 クレーコート
- 4.3.3.5 <https://vimeo.com/289515397/89c2e66ba5> – レベル 2 ハードコート
- 4.3.3.6 <https://vimeo.com/289514735/a615dc5d35> – レベル 2 クレーコート

4.4 レベルコート図



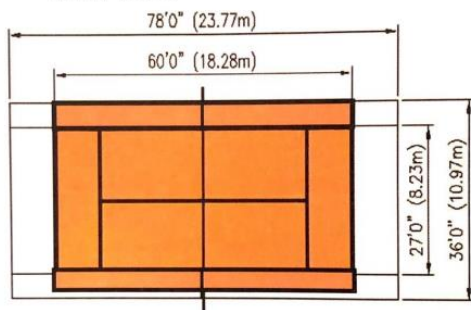
It's also possible to use the back part of the 78' x 36' court

コートの裏側の 78' x 36' を使うこともできる

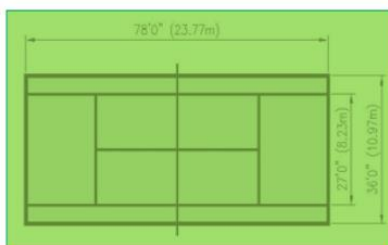
レベル 3



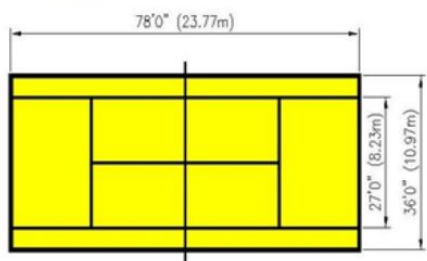
4.4.1.1 Level 3



レベル 4



4.4.1.3 Levels 5 and 6



レベル 5 とレベル 6



別紙：

5 スペシャルオリンピックス ITN 査定

ITN レベル 5 と同等の高い技量

(緑の丸が描かれたボールを用いる以外、レベル 4 も同様)

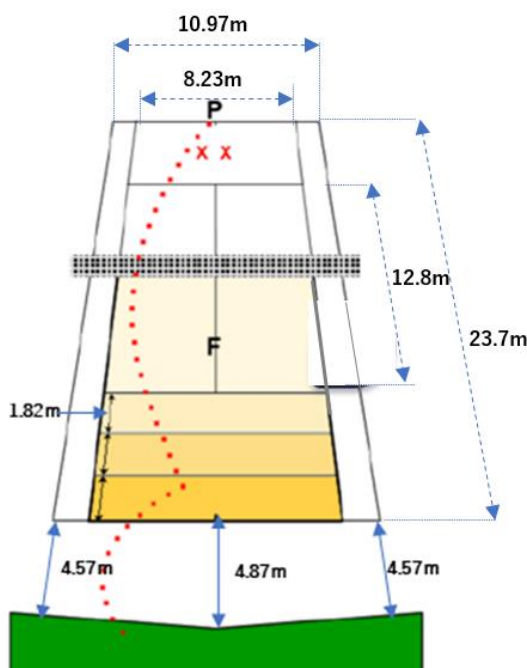
## 査定手順

アスリートのグループが指定されたコートに到着したら、記録員は各アスリートのフォームが手元にあるか、そしてそのフォームが各アスリートの物に間違いがないかを確認する。

進行が途切れることなく、かつ全員が参加できるように、すべてのアスリートは各運動課目を順番に行っていく。すなわち、全員がグラウンドストロークの深さを競う課目を行ったあとボレーの深さを競う課目へ進む等である。これには記録員の細やかな働きが必要であり、アスリートを間違えることなく適切なシートに記録を取ることが重要である。

## グラウンドストロークの深さを競う課目ーグラウンドストロークの深さ

グラウンドストロークの深さを競う課目は、アスリートのフォアハンド側とバックハンド側に交互に出される 10 球で構成される。点数は下記の図ごとに計算される。ボールがワンバウンド目に落ちた目標エリアにより 0 から 4 までの基礎点が決まる。ボールのツーバウンド目は加算の可能性がある、ベースラインを超えると 1 ポイント加算、パワーエリアラインを超えるとポイントが 2 倍となる。さらに、エラーでない各ショットに対しコンシステンシー加算の 1 ポイントが与えられる。



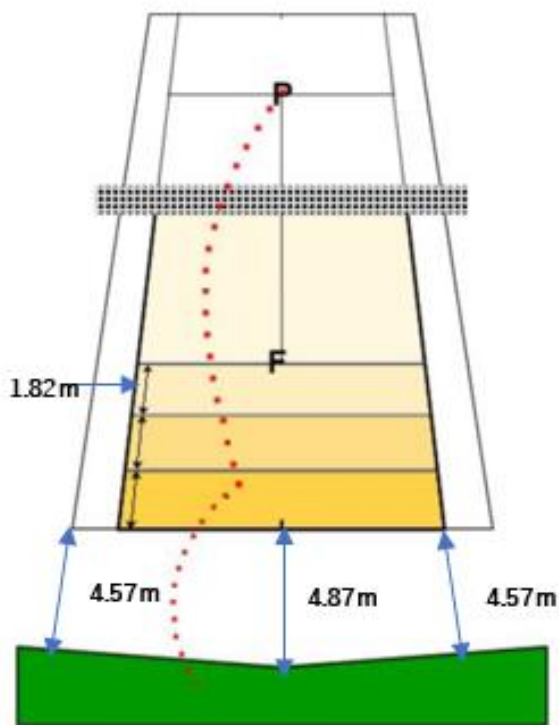
グラウンドストロークの深さ		
ストローク	#	スコア:
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
フォアハンド (FH)	5	
バックハンド (BH)	6	
フォアハンド (FH)	7	
バックハンド (BH)	8	
フォアハンド (FH)	9	
バックハンド (BH)	10	
小計		
コンシステンシー加算		
グラウンドストロークの深さ合計		



**ITN レベル5 と同等の高い技量**  
 (緑の丸が描かれたボールを用いる以外、レベル4 も同様)

## ボレーの深さを競う課目

ボレーの深さを競う課目は、サービスライン上のアスリートのフォアハンドとバックハンドのボレーに直接出される8球で構成される。スコアリング・システムはグラウンドストロークの深さを競うスコアリング・システムと全く同じである。



ボレーの深さ		
ストローク	#	スコア:
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
フォアハンド (FH)	5	
バックハンド (BH)	6	
フォアハンド (FH)	7	
バックハンド (BH)	8	
小計		
コンシステンシー加算		
ボレーの深さ 合計		



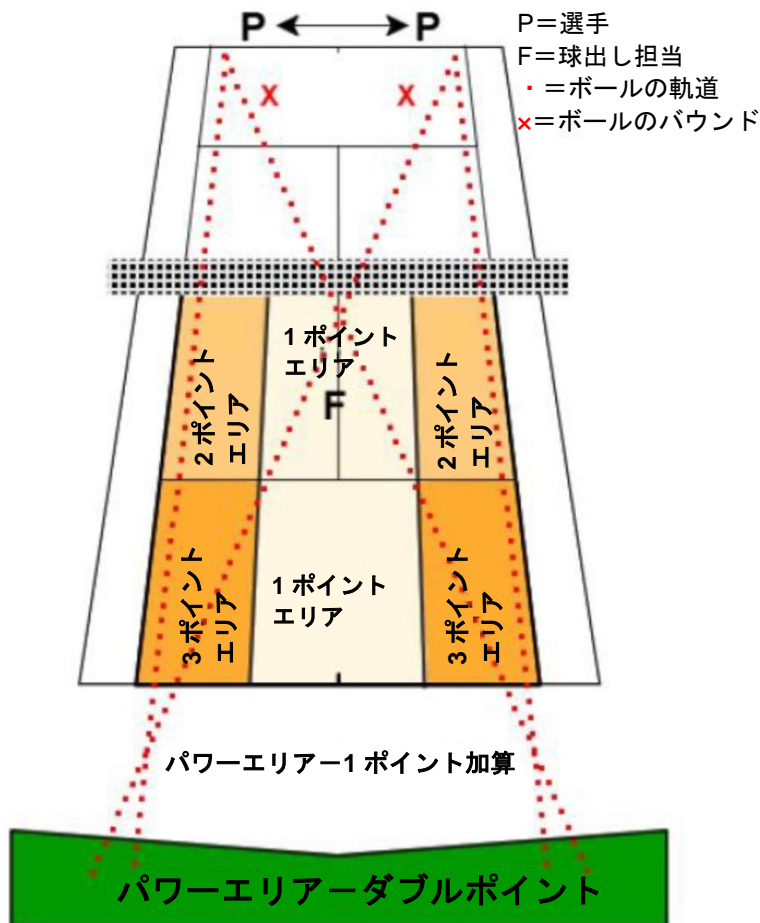


**ITN レベル 5 と同等の高い技量**  
 (緑の丸が描かれたボールを用いる以外、レベル 4 も同様)

## 正確さを競う課目

正確さを競う課目はクロスコートまたはダウンザラインを狙うグラウンドストローク 12 本から成る。ワンバウンド目のスコアエリアは深さを競う課目と異なるが、ツーバウンド目とコンシステンシーに関するルールは同様。

すべてのアスリートがダウンザラインの査定を受けた後、クロスコートの査定に誘導することが推奨される。これにより混乱を避け、すべてのショットが漏れなくカウントされるようにする。



グラウンドストロークの正確さ		
ストローク	#	スコア:
フォアハンド DL	1	
バックハンド DL	2	
フォアハンド DL	3	
バックハンド DL	4	
フォアハンド DL	5	
バックハンド DL	6	
フォアハンド CC	7	
バックハンド CC	6	
フォアハンド CC	9	
バックハンド CC	10	
フォアハンド CC	11	
バックハンド CC	12	
小計		
コンシステンシー加算		
グラウンドストロークの正確さ	合計	



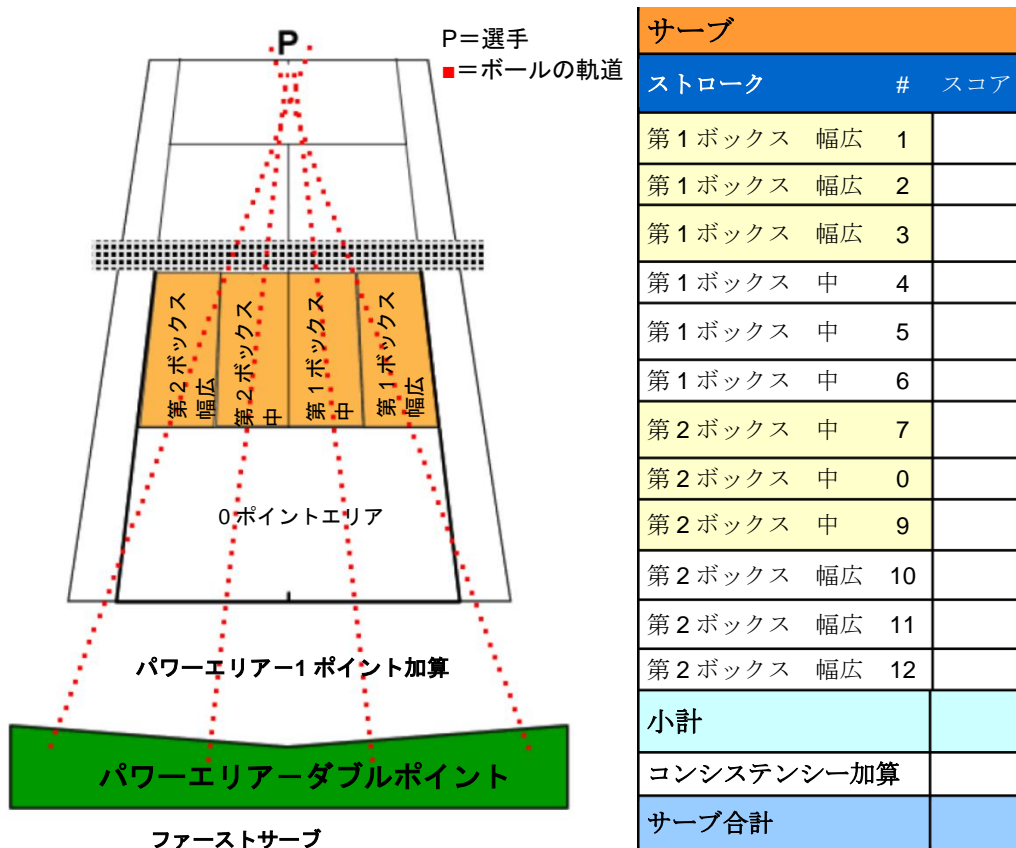
## ITN レベル5 と同等の高い技量 (緑の丸が描かれたボールを用いる以外、レベル4 も同様)

### サーブ課目

サーブ課目では、球出し担当が選手のそばにボールかごを用意する必要がある。すべての選手が各目標エリア順に試技を行う方法が一番早いと思われる。例えば、すべてのプレイヤーが第一目標エリアを狙った後、今度はすべての選手が第二目標エリアを狙う。これにより課目の混乱を緩和し、すべての選手の参加が確保される。

各試技につき、選手は試合同様第一サーブと第二サーブを行える。さらに試合と同様、ファーストサーブで目標エリアに入れた場合、セカンドサーブは必要ない。

以下にスコアリングを図解する。コンシステンシー・ポイントはエラーでないショットすべてに対し与えられる。



- 2ポイントーボールを正しいサービスボックスエリアに入れた場合。
  - 4ポイントーボールを正しいサービスボックスにある目標エリアに入れた場合。
- セカンドサーブ
- 1ポイントーボールを正しいサービスボックスエリアに入れた場合。
  - 2ポイントーボールを正しいサービスボックスにある目標エリアに入れた場合。



## ITN 査定

### レベル 2

フェルト製レッドボールー追加ライン不要 査定シート 10.3

・機敏さを競う課目は ITN 10 と同様 ・上記添付書類を参照。

16 球

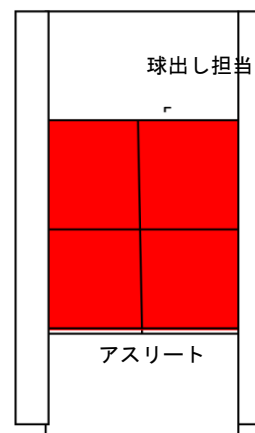
サーブ 4 本ーデュースコート 2 本／アドバン  
テージコート 2 本（セカンドサーブ無し）

フォアハンド・グラウンドストローク 4 本

バックハンド・グラウンドストローク 4 本

フォアハンドボレー 2 本

バックハンドボレー 2 本



### スコアリング

- コート内に入れたすべてのボールに対し各 1 ポイント
- 正しいサービスボックスに入れたすべてのサーブに対し各 1 ポイント
- 最高スコア=16 ポイント+機敏さのアセスメント



## ITN 査定

### レベル3 60 フィート (18.29m) のコート **オレンジボール**

コートサイズが 60 フィートである点を除き、レベル5 と同様の形式

オレンジボール 42 球の球出し： グラウンドストロークの深さ 10 本－フォアハンド／バックハンド交互

ボレーの深さ 8 本－フォアハンド／バックハンド交互

グラウンドストロークの正確さ 12 本－フォアハンド 6 本  
／バックハンド 6 本

サーブ 6 本－デュースサイド幅広 3 本／デュースサイド  
中 3 本

サーブ 6 本－アドバンテージサイド幅広 3 本／アドバン  
テージサイド中 3 本

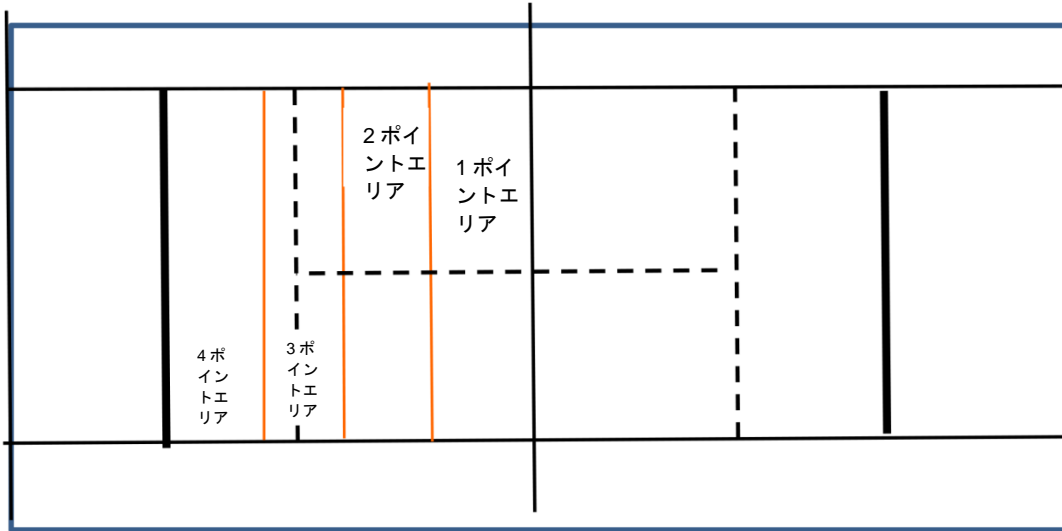
**サーブ課目および機敏さを競う課目はレベル5 と同様**

**グラウンドストロークおよびボレーのセッティング**

球出し担当側のラインは 7 フィート間隔

球出し担当は T に立つ

アスリートはグラウンドストロークでは 60 フィートコートのベースライン  
上、ボレーではネットから 1m に立つ



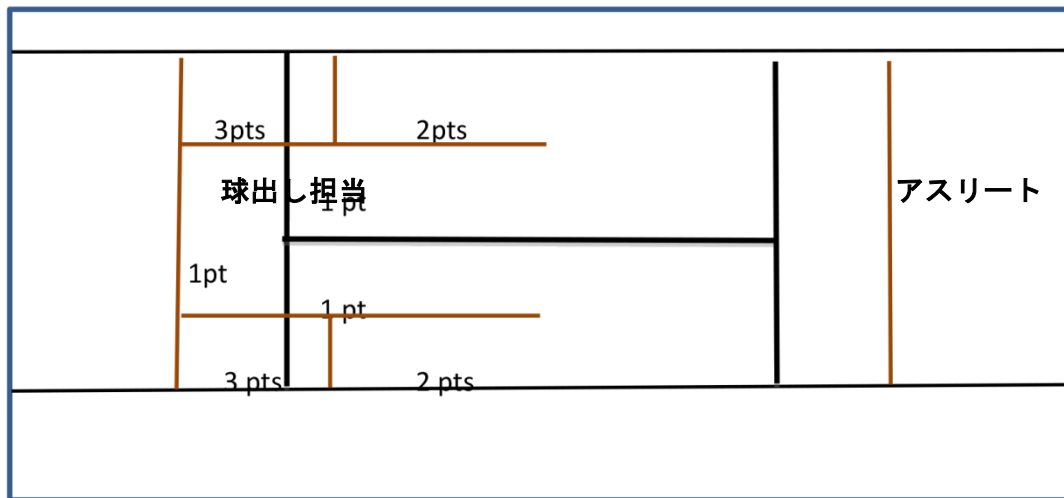
グラウンドストローク/  
ボレー



正確さ



運動課目







## スコアリング

### レベル3 グラウンドストロークの深さを競う課目ーボレーの深さ

- 1 ポイントーボールをバックコートエリアのフロント部分に入れた場合。
- 2 ポイントーボールをバックコートエリアのセカンド部分に入れた場合。
- 3 ポイントーボールをバックコートエリアの後ろ 3 分の 1 部分に入れた場合。
- 4 ポイントーボールをバックコートエリアの最後部に入れた場合。

### レベル3 正確さを競う課目

正確さを競う課目はクロスコートまたはダウンザラインを狙うグラウンドストローク 12 本から成る。

- 1 ポイントーボールをセントラルコートエリアに入れた場合。
  - 2 ポイントーボールをコートエリア（ネットからベースラインまで）の前半部分に入れた場合。
  - 3 ポイントーボールをコートエリア（ネットからベースラインまで）の後半部分に入れた場合。
- コンシステンシー・ポイントはエラーでないショットすべてに対し与えられる。

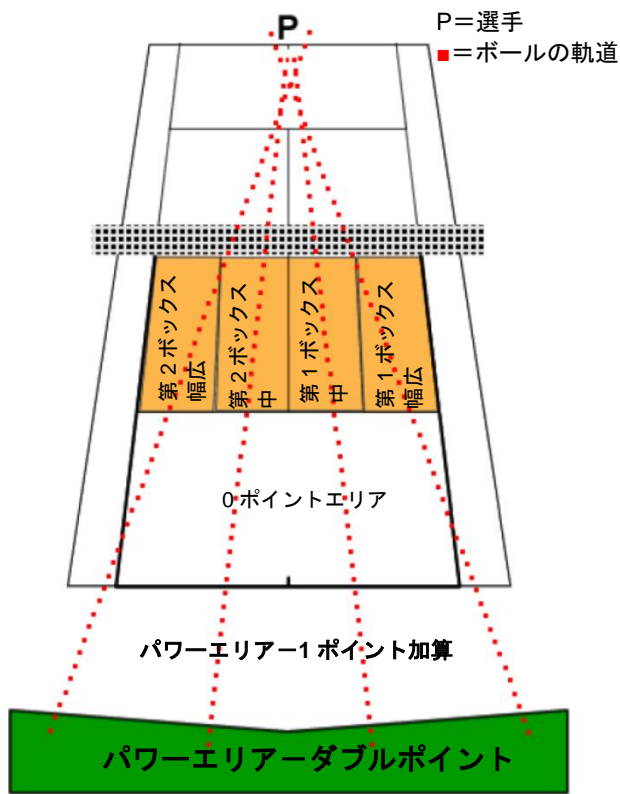
ツーバウンドに対するダブルポイントエリアは使用しない

### サーブ課目はレベル5 および4 と同様

サーブ課目では、球出し担当が選手のそばにボールかごを用意する必要がある。すべての選手が各目標エリア順に試技を行う方法が一番早いと思われる。例えば、すべてのプレイヤーが第一目標エリアを狙った後、今度はすべての選手が第二目標エリアを狙う。これにより課目の混乱を緩和し、すべての選手の参加が確保される。

各試技につき、選手は試合同様第一サーブと第二サーブを行える。さらに試合と同様、ファーストサーブで目標エリアに入れた場合、セカンドサーブは必要ない。

以下にスコアリングを図解する。コンシステンシー・ポイントはエラーでないショットすべてに対し与えられる。



ファーストサーブ

- 2ポイント-ボールを正しいサービスボックスエリアに入れた場合。
  - 4ポイント-ボールを正しいサービスボックスにある目標エリアに入れた場合。
- セカンドサーブ

- 1ポイント-ボールを正しいサービスボックスエリアに入れた場合。
- 2ポイント-ボールを正しいサービスボックスにある目標エリアに入れた場合。

サーブ			
ストローク	#	スコア:	
第1ボックス 幅広	1		
第1ボックス 幅広	2		
第1ボックス 幅広	3		
第1ボックス 中	4		
第1ボックス 中	5		
第1ボックス 中	6		
第2ボックス 中	7		
第2ボックス 中	8		
第2ボックス 中	9		
第2ボックス 幅広	10		
第2ボックス 幅広	11		
第2ボックス 幅広	12		
小計			
コンシステンシー加算			
サーブ合計			

International Tennis Number — On Court Assessment

Name: Ruby Chavez Carrasco Date of Birth: 11/12/1980 Sex: F

Assessor: Teresa Date: 19/09/17 Venue: Bolivia

Depth	Stroke	Score	Stroke	Score	Stroke	Score	Stroke	Score
Forehand	1	3	Forehand DL	1	0	1st Box Wide	1	2
Backhand	2	3	Backhand DL	2	4	1st Box Wide	2	4
Forehand	3	4	Forehand DL	3	6	1st Box Wide	3	2
Backhand	4	8	Backhand DL	4	2	1st Box Middle	4	4
Forehand	5	4	Forehand DL	5	4	1st Box Middle	5	4
Backhand	6	4	Backhand DL	6	3	1st Box Middle	6	4
Forehand	7	8	Forehand OC	7	2	2nd Box Middle	7	3
Backhand	8	4	Backhand OC	8	2	2nd Box Middle	8	4
Forehand	9	6	Forehand OC	9	6	2nd Box Middle	9	4
Backhand	10	3	Backhand OC	10	6	2nd Box Wide	10	4
Sub Total		28	Forehand OC	11	4	2nd Box Wide	11	4
Consistency		8	Backhand OC	12	3	2nd Box Wide	12	4
Sub Total		50	Sub Total		41	Sub Total		12
Consistency		10	Consistency		11	Consistency		12
GS Depth Total		60	GS Accuracy Total		5.2	Serve Total		

what's your number?

Signed by/behalf of the player: \_\_\_\_\_

Signed by the Assessor: \_\_\_\_\_

This ITN Assessment was conducted in accordance with the guidelines set forth in the Official ITN Assessment Guide. I hereby agree to its authenticity.

## レベル 4 および 5

レベル 4 および 5（サーブ課目を除く）では次のとおりパワーポイントが与えられる：

**パワーエリア=1 ポイント加算**—ボールをシングルスコートエリア内のどこかに入れ、ツェーバウンドがベースラインからボーナスラインまでの間に入った場合、1 ポイントが加算される。

**例：**ワンバウンドのボールを 4 ポイントエリアに入れた場合、5 ポイントが与えられる。

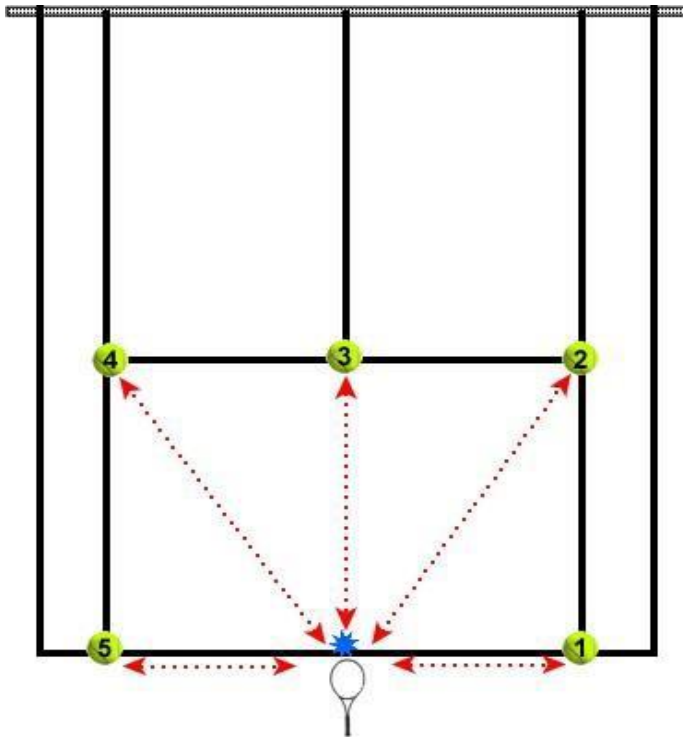
**0 ポイント**—ボールのワンバウンドが通常のシングルスコートエリアから外れた場合。

**コンシステンシー加算：**エラーでないショットすべてに対し 1 ポイントが加算される。

ポイントは合計されグラウンドストロークの深さに関するアセスメントセクションの合計スコアとなる。

**パワーエリア=ポイント 2 倍**—ボールをシングルスコートエリア内のどこかに入れ、ツェーバウンドがベースラインからボーナスラインを超えると場合、ポイントが 2 倍となる。

# 機敏さ



最高スコア=76ポイント

機敏さのアセスメント—このアセスメントでは、選手が5つのボールを手に取り、ひとつひとつのボールを指定されたゾーンに戻すまでにかかる時間を計測する。

スコアは秒で記録される。

一連の課題を完了するのに要した時間に基づきポイントが与えられる。

課題を速く完了した選手ほど高いポイントが与えられる。

手順：

ベースラインの中央にあるセンターマークのすぐ後ろにラケットのヘッドを合わせて置く。ラケットのグリップは、図のようにバックフェンスに向ける。

図のとおり5つのボールをコート上

に設置する。

ベースラインの中央からスタートし、各ボールを回収し、ラケットのガットに置く。1回につきボール1つずつ、反時計回りに行う。つまり全員が右側のボールから開始しなければならない。

「レディーセッターゴー」の合図後、ストップウォッチで計時する。

最後のボールがラケットのガット上に置かれ次第、計時を終了する。

次のとおりポイントが与えられる：

上段は1秒ごとにタイムの増加が右から左に示されている。

下段は各時間の増加に対し与えられるポイントが右から左に示されている。

機敏さの

ポイント換算表


	T: タイム (秒)		スコア:																							
T	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
S	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12	14	15	16	18	19	21	26	32	39	45	52	61	76

タイムが早いほど、高いポイントが割り当てられる。22秒=21ポイント

インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定

氏名: \_\_\_\_\_ 誕生日: \_\_\_\_\_ 性別: 男 女

査定者: \_\_\_\_\_ 日付: \_\_\_\_\_ 会場: \_\_\_\_\_



あなたのナンバーは?

この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名: \_\_\_\_\_

査定者による署名: \_\_\_\_\_

グラウンドストロークの深さ	ボレーの深さ	グラウンドストロークの正確さ	サーブ
ストローク # スコア: フォアハンド (FH) 1	ストローク # スコア: フォアハンド (FH) 1	ストローク # スコア: フォアハンド DL 1	ストローク # スコア: 第 1 ボックス 幅広 1
バックハンド (BH) 2	バックハンド (BH) 2	バックハンド DL 2	第 1 ボックス 幅広 2
フォアハンド (FH) 3	フォアハンド (FH) 3	フォアハンド DL 3	第 1 ボックス 幅広 3
バックハンド (BH) 4	バックハンド (BH) 4	バックハンド DL 4	第 1 ボックス 中 4
フォアハンド (FH) 5	フォアハンド (FH) 5	フォアハンド DL 5	第 1 ボックス 中 5
バックハンド (BH) 6	バックハンド (BH) 6	バックハンド DL 6	第 1 ボックス 中 6
フォアハンド (FH) 7	フォアハンド (FH) 7	フォアハンド CC 7	第 2 ボックス 中 7
バックハンド (BH) 8	バックハンド (BH) 8	バックハンド CC 8	第 2 ボックス 中 8
フォアハンド (FH) 9	小計	フォアハンド CC 9	第 2 ボックス 中 9
バックハンド (BH) 10	コンシステンシー加算	バックハンド CC 10	第 2 ボックス 幅広 10
小計	ボレーの深さ 合計	フォアハンド CC 11	第 2 ボックス 幅広 11
コンシステンシー加算		バックハンド CC 12	第 2 ボックス 幅広 12
グラウンドストロークの深さ 合計		小計	小計
		コンシステンシー加算	コンシステンシー加算
		グラウンドストロークの正確さ 合計	サーブ合計

機敏さのポイント 換算表

T	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
S	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12	14	15	16	18	19	21	26	32	39	45	52	61	76
スコア (伏)	57-79	80-108	109-140	141-171	172-205	206-230	231-258	259-303	304-344	345-430																
スコア (顕)	75-104	105-139	140-175	176-209	210-244	245-268	269-293	294-337	338-362	363-430																
ITN	ITN 10	ITN 9	ITN 8	ITN 7	ITN 6	ITN 5	ITN 4	ITN 3	ITN 2	ITN 1																

機敏さのポイント T: タイム (秒) スコア:

定義番号 新しい ITN レイティング

査定終了後、選手の ITN レベルに丸をつける。

レベル 2: アスリートのスコアは最大 16 ストロークポイント+機敏さの課目の加算ポイントとする。

査定シートに記入する際、ストロークの合計点、機敏さのスコア、合計スコア、新しい ITN レイティングに入力漏れがないようにする。

レベル 3: アスリートは ITN 10 を得ていなければならない。

レベル 4: アスリートは ITN 9 を得ていなければならない。

レベル 5: アスリートは ITN 8 または 7 を得ていなければならない。

レベル 6: アスリートは ITN 6 または 5 (新しいレベルが SRAC により承認された場合) を得ていなければならない

International tennis number  
Name: Ruby Chavez Casanova Date of Birth: 11/2/1980 Sex: F  
Assessor: T. Garcia Date: 11/01/12 Venue: Bolivia

GS Depth	Volley Depth	GS Accuracy	Serve
Fronthand 1 3	Fronthand 1 2	Fronthand DL 1 0	1st Box Wide 1 2
Backhand 2 3	Backhand 2 3	Backhand DL 2 4	2nd Box Wide 2 4
Fronthand 3 4	Fronthand 3 4	Fronthand DL 3 6	1st Box Middle 3 2
Backhand 4 4	Backhand 4 4	Fronthand DL 4 2	2nd Box Middle 4 4
Fronthand 5 4	Fronthand 5 3	Fronthand DL 5 4	1st Box Middle 5 4
Backhand 6 4	Backhand 6 3	Backhand DL 6 3	2nd Box Middle 6 4
Fronthand 7 4	Fronthand 7 4	Fronthand CC 7 2	1st Box Middle 7 4
Backhand 8 4	Backhand 8 4	Backhand CC 8 2	2nd Box Middle 8 4
Fronthand 9 3	Fronthand 9 3	Fronthand CC 9 6	1st Box Middle 9 4
Backhand 10 3	Backhand 10 3	Backhand CC 10 6	2nd Box Middle 10 4
Sub Total	Sub Total	Sub Total	Sub Total
Consistency 10	Consistency 9	Consistency 11	Consistency 12
GS Depth Total 60	Volley Depth Total 36	GS Accuracy Total 53	Serve Total 54

Stroke Total: 202, Mobility Score: 12, Total Score: 214

Number of Assessments: 1, New ITN Rating: 10

International tennis number — On Court Assessment  
Name: Ruby Chavez Casanova Date of Birth: 11/2/1980 Sex: F  
Assessor: T. Garcia Date: 11/01/12 Venue: Bolivia

GS Depth	Volley Depth	GS Accuracy	Serve
Fronthand 1 3	Fronthand 1 2	Fronthand DL 1 0	1st Box Wide 1 2
Backhand 2 3	Backhand 2 3	Backhand DL 2 4	2nd Box Wide 2 4
Fronthand 3 4	Fronthand 3 4	Fronthand DL 3 6	1st Box Middle 3 2
Backhand 4 4	Backhand 4 4	Fronthand DL 4 2	2nd Box Middle 4 4
Fronthand 5 4	Fronthand 5 3	Fronthand DL 5 4	1st Box Middle 5 4
Backhand 6 4	Backhand 6 3	Backhand DL 6 3	2nd Box Middle 6 4
Fronthand 7 4	Fronthand 7 4	Fronthand CC 7 2	1st Box Middle 7 4
Backhand 8 4	Backhand 8 4	Backhand CC 8 2	2nd Box Middle 8 4
Fronthand 9 3	Fronthand 9 3	Fronthand CC 9 6	1st Box Middle 9 4
Backhand 10 3	Backhand 10 3	Backhand CC 10 6	2nd Box Middle 10 4
Sub Total	Sub Total	Sub Total	Sub Total
Consistency 10	Consistency 9	Consistency 11	Consistency 12
GS Depth Total 60	Volley Depth Total 36	GS Accuracy Total 53	Serve Total 54

Stroke Total: 202, Mobility Score: 12, Total Score: 214

Number of Assessments: 1, New ITN Rating: 10



### International Tennis Number — On Court Assessment

Name: Ruby Chavez Camacho Date of Birth: 11/2/1980 Sex: F  
 Assessor: Teresa Date: 19/09/17 Venue: Bolton



Depth		Volley Depth		GS Accuracy		Serve	
Stroke	#	Stroke	#	Stroke	#	Stroke	#
Forehand	1	Forehand	1	Forehand DL	1	1st Box Wide	1
Backhand	2	Backhand	2	Backhand DL	2	1st Box Wide	2
Forehand	3	Forehand	3	Forehand DL	3	1st Box Middle	3
Backhand	4	Backhand	4	Backhand DL	4	1st Box Middle	4
Forehand	5	Forehand	5	Forehand DL	5	1st Box Middle	5
Backhand	6	Backhand	6	Backhand DL	6	1st Box Middle	6
Forehand	7	Forehand	7	Forehand CC	7	2nd Box Middle	7
Backhand	8	Backhand	8	Backhand CC	8	2nd Box Middle	8
Forehand	9	Forehand	9	Forehand CC	9	2nd Box Middle	9
Backhand	10	Backhand	10	Backhand CC	10	2nd Box Wide	10
Sub Total	50	Sub Total	28	Sub Total	41	Sub Total	42
Consistency	10	Consistency	8	Consistency	11	Consistency	12
GS Depth Total	60	Volley Depth Total	36	GS Accuracy Total	52	Serve Total	54

This ITN Assessment was conducted in accordance with the guidelines set forth in the Official ITN Assessment Guide. I hereby agree to its authenticity.

Signed by/behalf of the player: \_\_\_\_\_

Signed by the Assessor: \_\_\_\_\_

Strokes Total	Mobility Score	Total Score
202	12	214

Time	Score
7	40
8	1
9	57-79
10	80-108
11	109-140
12	141-171
13	172-205
14	206-230
15	231-258
16	259-303
17	304-344
18	345-430
19	431-510
20	511-600
21	601-700
22	701-800
23	801-900
24	901-1000
25	1001-1100
26	1101-1200
27	1201-1300
28	1301-1400
29	1401-1500
30	1501-1600

Circle players ITN level after completing the Assessment





6. ITN 査定シートの作成 (次頁参照)

インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定

氏名 \_\_\_\_\_ 誕生日: \_\_\_\_\_ 性別: 男 女  
 査定者: \_\_\_\_\_ 日付: \_\_\_\_\_ 会場: \_\_\_\_\_

グラウンドストロークの深さ			ボレーの深さ			グラウンドストロークの正確さ			サーブ		
ストローク	#	スコア:	ストローク	#	スコア:	ストローク	#	スコア:	ストローク	#	スコア:
フォアハンド (FH)	1		フォアハンド (FH)	1		フォアハンド DL 1			第1ボックス幅広	1	
バックハンド (BH)	2		バックハンド (BH)	2		バックハンド DL 2			第1ボックス幅広	2	
フォアハンド (FH)	3		フォアハンド (FH)	3		フォアハンド DL 3			第1ボックス幅広	3	
バックハンド (BH)	4		バックハンド (BH)	4		バックハンド DL 4			第1ボックス中	4	
フォアハンド (FH)	5		フォアハンド (FH)	5		フォアハンド DL 5			第1ボックス中	5	
バックハンド (BH)	6		バックハンド (BH)	6		バックハンド DL 6			第1ボックス中	6	
フォアハンド (FH)	7		フォアハンド (FH)	7		フォアハンド CC 7			第2ボックス中	7	
バックハンド (BH)	8		バックハンド (BH)	8		バックハンド CC 8			第2ボックス中	8	
フォアハンド (FH)	9		小計			フォアハンド CC 9			第2ボックス中	9	
バックハンド (BH)	10		コンシステンシー加算			バックハンド CC 10			第2ボックス幅広	10	
小計			ボレーの深さ 合計			フォアハンド CC 11			第2ボックス幅広	11	
コンシステンシー加算						バックハンド CC 12			第2ボックス幅広	12	
グラウンドストロークの深さ 合計						小計			小計		
						コンシステンシー加算			コンシステンシー加算		
						グラウンドストロークの正確さ 合計			サーブ合計		



この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名: \_\_\_\_\_

査定者による署名: \_\_\_\_\_

ストローク合計	機敏さのスコア	最終スコア

機敏さのポイント換算表

T: タイム (秒)	スコア:
------------	------

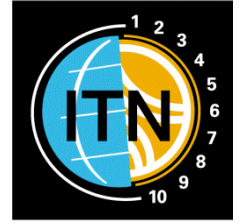
T	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
S	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12	14	15	16	18	19	21	26	32	39	45	52	61	76
スコア (女性)	57-79		80-108		109-140		141-171		172-205		206-230		231-258		259-303		304-344		345-430							
スコア (男性)	75-104		105-139		140-175		176-209		210-244		245-268		269-293		294-337		338-362		363-430							
ITN	ITN 10		ITN 9		ITN 8		ITN 7		ITN 6		ITN 5		ITN 4		ITN 3		ITN 2		ITN 1							

査定番号	新しい ITN レイティング

査定終了後、選手の ITN レベルに丸をつける。

# インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定

氏名 \_\_\_\_\_ 誕生日： \_\_\_\_\_ 性別： 男 女  
 査定者： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_ 会場： \_\_\_\_\_



グラウンドストロークの深さ			ボレーの深さ			グラウンドストロークの正確さ			サーブ		
ストローク	#	スコア	ストローク	#	スコア	ストローク	#	スコア	ストローク	#	スコア
フォアハンド (FH)	1		フォアハンド (FH)	1		フォアハンド DL 1			第1ボックス 幅広	1	
バックハンド (BH)	2		バックハンド (BH)	2		バックハンド DL 2			第1ボックス 幅広	2	
フォアハンド (FH)	3		フォアハンド (FH)	3		フォアハンド DL 3			第1ボックス 幅広	3	
バックハンド (BH)	4		バックハンド (BH)	4		バックハンド DL 4			第1ボックス 中	4	
フォアハンド (FH)	5		フォアハンド (FH)	5		フォアハンド DL 5			第1ボックス 中	5	
バックハンド (BH)	6		バックハンド (BH)	6		バックハンド DL 6			第1ボックス 中	6	
フォアハンド (FH)	7		フォアハンド (FH)	7		フォアハンド CC 7			第2ボックス 中	7	
バックハンド (BH)	8		バックハンド (BH)	8		バックハンド CC 8			第2ボックス 中	8	
フォアハンド (FH)	9		小計			フォアハンド CC 9			第2ボックス 中	9	
バックハンド (BH)	10		コンシステンシー加算			バックハンド CC 10			第2ボックス 幅広	10	
小計			ボレーの深さ 合計			フォアハンド CC 11			第2ボックス 幅広	11	
コンシステンシー加算						バックハンド CC 12			第2ボックス 幅広	12	
グラウンドストロークの深さ 合計						小計			小計		
						コンシステンシー加算			コンシステンシー加算		
						グラウンドストロークの正確さ 合計			サーブ合計		

この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名： \_\_\_\_\_

査定者による署名： \_\_\_\_\_

ストローク合計	機敏さのスコア	最終スコア

機敏さのポイント換算表

T: タイム (秒)	スコア:
------------	------

T	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15														
S	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12	14	15	16	18	19	21	26	32	39	45	52	61	76														
スコア (女性)	57-79				80-108				109-140				141-171				172-205				206-230				231-258				259-303				304-344				345-430			
スコア (男性)	75-104				105-139				140-175				176-209				210-244				245-268				269-293				294-337				338-362				363-430			
ITN	ITN 10				ITN 9				ITN 8				ITN 7				ITN 6				ITN 5				ITN 4				ITN 3				ITN 2				ITN 1			

査定番号	新しい ITN レイティング

査定終了後、選手の ITN レベルに丸をつける。

# インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定

## インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定 (10.1 用)

氏名 :	誕生日 :
査定者 :	日付 :

この査定に使用するコートサイズフルサイズコート



グラウンドストロークのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア :
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
フォアハンド (FH)	5	
バックハンド (BH)	6	
フォアハンド (FH)	7	
バックハンド (BH)	8	
グラウンドストロークの深さ		合計

ボレーのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア :
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
ボレーの深さ		合計

サーブのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア :
右	1	
左	2	
右	3	
左	4	
サーブ合計		

この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名

査定者による署名

**スコアリング**  
 スコアリングは、各レベルでコート（またはコート内のゾーン）に入れたボールの数に基づく。次のレベルに進むには、選手は必要とされる最低限のスコアをクリアしなければならない。  
 バックゾーンに入れたすべてのボールに各 4 ポイント  
 ミッドゾーンに入れたすべてのボールに各 2 ポイント  
 ショートゾーンに入れたすべてのボールに各 1 ポイント  
 正しいサービスボックスに入れたすべてのサーブに対し各 1 ポイント  
 最大スコア=52 ポイント  
 スコアが 0~19 のグリーン (10.1) から開始-オレンジ (10.2) に進む  
 スコアが 20~45-グリーンのまま (10.3)  
 スコアが 46~52-ITN10 に進む

ストローク合計	機敏さのスコア	最終スコア
		0

査定番号      新しい ITN レイティング

## インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定 (10.2 用)

氏名：	誕生日：
査定者：	日付：
この査定に使用するコートサイズ-18m×9m	



グラウンドストロークのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア：
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
フォアハンド (FH)	5	
バックハンド (BH)	6	
フォアハンド (FH)	7	
バックハンド (BH)	8	
グラウンドストロークの深さ		合計

ボレーのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア：
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
ボレーの深さ		合計

サーブのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア：
右	1	
左	2	
右	3	
左	4	
サーブ合計		

この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名

査定者による署名

### スコアリング

スコアリングは、各レベルでコート（またはコート内のゾーン）に入れたボールの数に基づく。

次のレベルに進むには、選手は必要とされる最低限のスコアをクリアしなければならない。

バックゾーンに入れたすべてのボールに各 2 ポイント

ショートゾーンに入れたすべてのボールに各 1 ポイント

正しいサービスボックスに入れたすべてのサーブに対し各 1 ポイント

最高スコア=28 ポイント+機敏さのスコア

スコアが 0~22-オレンジのまま (10.2)

ストローク合計	機敏さのスコア	最終スコア
		0

査定番号

新しい ITN レイティング



## インターナショナル・テニス・ナンバーコート上の査定 (10.3 用)

氏名：	誕生日：
査定者：	日付：
この査定に使用するコートサイズ—フルサイズコート	



グラウンドストロークのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア：
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
フォアハンド (FH)	5	
バックハンド (BH)	6	
フォアハンド (FH)	7	
バックハンド (BH)	8	
グラウンドストロークの深さ		合計

ボレーのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア：
フォアハンド (FH)	1	
バックハンド (BH)	2	
フォアハンド (FH)	3	
バックハンド (BH)	4	
ボレーの深さ		合計

サーブのコンシステンシー		
ストローク	#	スコア：
右	1	
左	2	
右	3	
左	4	
サーブ合計		

この ITN 査定は ITN アセスメント公式ガイドで規定されているガイドラインに基づき実施された。私はここにその真正性に同意する。

選手/代理人による署名

査定者による署名

**スコアリング**  
 スコアリングは、各レベルでコート（またはコート内のゾーン）に入れたボールの数に基づく。  
 次のレベルに進むには、選手は必要とされる最低限のスコアをクリアしなければならない。  
 コート内に入れたすべてのボールに対し各 1 ポイント  
 正しいサービスボックスに入れたすべてのサーブに対し各 1 ポイント  
 最高スコア=16 ポイント+機敏さのスコア  
 スコアが 0~12—レッドのまま (10.3)  
 スコアが 13~16—オレンジに進む (10.2)

ストローク合計	機敏さのスコア	最終スコア
		0
査定番号	新しい ITN レイティング	